

大阪民衆史研究会報

2024年10月号
第31巻第10号
(通巻349号)

発行 大阪民衆史研究会 (代表 林 耕二)

例会等のお知らせ

◇10月例会

日時 10月13日(日) 午後1時半開場、2時開会 府教育会館3F桜の間
報告 近江八千代さん

「泉州繊維労働者のたたかいの先頭に立って闘ったある女子工員の半生」

近江八千代さんは因島出身の両親のもと、港区市岡に生まれた。昭和20年代に泉州の紡績会社に勤め、そこで女子労働組合を結成する。劣悪な労働条件の改善に取り組む中で、丸三敷布女子労働組合執行委員長となり、諸要求の実現を勝ち取っていった。退職後も地域の民主的な活動に従事し、90歳を超えて元気に活躍している。

◇11月例会

日時 11月17日(日) 午後1時半開場、2時開会 府教育会館3F桜の間
報告 小松 忠さん(会員・金岡公園ピースメモリークラブ)

「堺にも軍隊があったー金岡連隊をさぐる」

1932年、現堺市北区長曾根町に真田山から騎兵連隊移動。後輜重隊・陸軍病院なども移転、「軍隊村」となった。戦後はアメリカ進駐軍の病院となり、地元の強い願いで返還された。「終戦直前に毒ガス隊があった」「160cmの塀を越えて逃げるのは簡単だが、後がこわい。耐えられず自殺した」「陸軍病院は鬼の金岡・仏の日赤と有名。30棟の病棟で5千人の患者?」「練兵場も患者の芋畑に。小学生が草取り(8月15日午前中も)」など20数人の体験者や地元の人聞き取りと公文書から、当時の配置や実態をさぐる。

参加費は会員400円、非会員500円